

2023年 1 月度 中部品質工学研究会 議事録

- 開催日時 2023/1/14 (土) 10:00~17:00
- 開催場所 Teamsを用いてのリモート(オンライン)
- 会員参加者<敬称略> S:オンサイト出席・L:オンライン出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

大見	L	牧野	L	横尾	S	城越	L	合田	L	伊藤	S	舟山	欠	出島	L
福田	L	水田	S	山中	L	山口(展)	L	黒田	書	鈴木	L	古谷	L	池田	L
三浦	L	山口(直)	L	岡本専務	L	北村局長	L								
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休				

4. 研究会内容

1) 輪講「2018年研究発表大会発表賞金賞受賞 予稿集テーマNo13」(横尾さん)

横尾さん輪講

パネル見切り部外側にスポットの打点が現れると外観品質を損ねるのでエッジ(見切り)のヘミング曲げを行う。ヘミング曲げ制御因子最適化がテーマ。

ゼブラ照明(白い線を表面に何本か照らす)により不自然な箇所を見つけ出す。

【自動車開発にたずさわるメーカー技術者視点での感想】

①最初にVPDを実施して検討する制御因子を絞り込む。

VPIはレビューの意見の違いが出る。意見不一致の箇所を選んで

後の本実験又はsimで確認すると、時間・コストの節約になる。

③この取組みにて、設計から生産まで、データを繋いでものづくりが出来る可能性が示された。

ものづくりの今後の方向性を示した素晴らしい論文であることを理解した。

【最近の新車開発事情】

①胆はサプライヤーが握る。ソフト開発をコントロールできるエンジニアが必要。

②走り以外で自分たちの魅力をどう出すかが課題。

③テスラにはこれまでに無かった新しい魅力がある。

2) 2023年度研究発表大会オーガナイズドセッションテーマ選定

テーマ名(セッションタイトル):「机上戦で挑む損失ームダ・手戻り・勘違いー」

山中さん:テーマ「持続可能な発展はまず工場のムダ削減から」

池田さん:テーマ「特徴量の項目数>サンプル数の条件におけるT法の注意点」

牧野さん:テーマ「T法の貢献度に関する直交表の検討Part II」

司会者:舟山さん、合田さん(サブ)

大会テーマ名:「品質工学で持続可能な発展を!~最小の損失で最大の価値創造を目指す~」

3) 田口伸さん講演「ASIで長年使っている品質工学の基礎が盛りだくさんの演習問題」

1.望み特性のパラメータ設計

キャノンボールを目標の飛距離（150m）に到達させるためのパラメータ

ポイント：2段階最適化を意識する。

Step1：力はいくつでもいい。角度45度。 Step2：力を調整し目標値に合わせる

2.キャノン砲の例から分かる許容差設計の原理

最適化すると特性要因図が変化し、次段階で用いる制御因子も変わる。常に最適な制御因子を選んで多段階最適化を進める。最終的に特性要因図上で水準による差が見えなくなる⇒ロバストネスの完成。

4) 「論文ダウンロード補助に関する著作権調査結果」（山中さん）

①昨年12月度の定例会にて、研究会報告の為に論文購入費用を補助して欲しいとの声が出た。

②しかし、もし論文を研究会費で購入し、どこでもキャビネット上で自由閲覧可とする方法を採れば著作権の侵害であり不法行為であると考えられる。

ただしその時点では皆の著作権に関する知識があやふやで、その行為が本当にいけないことなのか、あるいは何らかの制約を付けて論文を皆が閲覧可とすることができないか判断できなかった。

③そこで、論文に著作権が成立するかどうかから始めて、著作権の帰属先、著作権法の規定とその例外規定を調査し、疑問に対する結論を求めることになり、結果を報告した。

④調査の結果、論文は明らかに著作物であり、どこでもキャビネット上に保管して特定とはいえ多数が閲覧可とすることは、著作権のうちの公衆送信権侵害に該当するとの結論を得た。

従ってそのような行為は適法と言えない。

⑤結論として本件の背景となった研究への補助に関して会として賛成可決し、論文購入により勉強した結果を研究会へ資する形でフィードバック報告する場合には、論文購入費用を会費から負担することになった。

⑥今の時点では、補助の限度額や承認の権限、要件といった制度が決められていない。従って今後には幹事会でそのルール作りから始めて制度として整えて行く。

5) 事務局連絡（中品協岡本専務理事退任御あいさつ、静岡森先生ご提案対応など）

・中品協岡本専務理事退任ご挨拶

・後任北村専務のご挨拶

・研究会の日程

・事例、テーマ相談活性化：池田さんの内容は今回のオーガナイズドセッションの話

・会計：MT法ソフト（アングルトライ社）を1本購入した。実験計画法の第3版については個人購入で解決。

論文：会としての支出を認める。ただしルールの整備を行う。（幹事会にて）

・講演会招聘：山田秀先生（2/4）、田口伸先生（3/4）

森先生：お呼びする（合田さん交渉：4月、5月で調整）

テーマを変えてなら呼んでもよいのでは？これまでの歴史など。

・対外関係 合同研究会 5月で回答する（城越さん）

・輪講：希望するのがあれば出島さんに連絡する

・その他：合田さん 大会実行員から連絡あり

一般セッションの副司会：研究会では希望者なしと連絡しておく